

1 美術館の利用の承認等に関する業務**● 来館者数の動向**

・第3四半期の来館者数は、5,316人で昨年の同期と比較して約7%減、前指定管理期間の第3四半期平均と比較しても約19%減であった。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務**● 施設・設備の維持管理**

・計画どおり設備機器点検を行い、施設及び設備の管理を適切に行った。
・設備機器の不具合にも適切に対応するとともに、市が行う調査や修繕に協力し円滑に進めた。
・美術館の和風建築にあった植栽の維持、季節感のある庭園管理を行った。

● 施設の運営

・施設案内パンフレット、年間展示案内カレンダーを作成し、施設の周知に努めた。
・窓口における受付、施設案内等を適切に行った。
・積極的にメディアの取材対応を行い、美術館の宣伝強化に努めた。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務**● 展示・その他事業**

・事業計画どおり、企画展・特別展及び普及事業を開催した。
・各展覧会とも展示解説を実施し、参加者は275人だった。
・開架図書コーナーでの図書閲覧者は484人だった。
・初心者向けの日本画ワークショップを2回(11月、12月)実施し、清方作品を鑑賞するとともに絵を描く楽しさを実感できる機会を設けた。
・美術講演会を開催し、清方作品にみられる女性の美について解説した。
・日本画家を招き、日本画の制作現場を自由に見ることができる「日本画制作実演」を実施した。

● その他必要な業務

・葉祥明美術館との相互割引や山口蓬春記念館との連携事業、近隣文化施設(神奈川県立近代美術館鎌倉別館、鎌倉国宝館、川喜多映画記念館)とのスタンプラリーを実施するなど、他館との連携に努め美術館のPRを行った。
・社会貢献活動として、大学院生のインターン1名、中学生のインターンシップ6名の受け入れを行った。
・全国美術館会議(総会・研修会・報告会)に参加し、情報収集や技能向上を図った。

4 鎌木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務**● 収集・保管**

・作品等の保管状況や展示状況の確認を11月28日、12月19日に行った。結果はいずれも良好であった。
・事業計画どおり、作品の修復を実施した。

● 調査・研究

・娘道成寺の演目の内容に関する調査、長唄「秋色種」の内容に関する調査、『読売新聞』掲載挿絵等に関する調査、清方の幽霊画の作品調査、鏡花関連の清方作品調査、近松門左衛門関連の清方作品調査、清方の随筆における新春の風物に関する記述の調査、「京鹿子娘道成寺」の衣装に関する調査、『續こしかたの記』記載事項に関する調査、戦前～戦後の美術記事に関する調査、新橋色を用いた清方作品の調査、花柳流と清方との関わりについての調査、戦中の美術界の団体成立についての調査、押絵羽子板の作り方に関する調査、飛び双六の遊び方に関する調査、清方作品における新橋色を使用した作例の調査、清方の戦時期における画業の調査、清方の昭和30年代の作品の実見調査、ポールクローデルと清方の関係についての新聞調査を行った。

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている(10月分:11月10日、11月分:12月7日、12月分:1月12日提出)。
- ・展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。
- ・市広報に展覧会や日本画ワークショップ、美術講演会等の情報を掲載し、市民への周知を行った。
- ・モニター広告を利用し、市役所本庁舎に来た市民等に展覧会内容を周知した。

● 事故・苦情対応

- ・事故や苦情はなし。

● その他

- ・文化庁補助事業を活用し製作した北鎌倉から鎌倉の文化施設等をを紹介する周遊型観光ウェブサイトを改良するための調査等を行った(掲載エリア拡大に向けた調査、ウェブサイトの利用実態について調査、閲覧者向けアンケートの実施、多言語化に向けてのテキストを作成及び入稿)。

6 全体評価

- ・第3四半期の来館者数が、前指定管理期間の平均値と比較して約80%に留まっており、非常に厳しい状況にある。天候不順などの外的要因が来館者数に大きく影響することは理解するが、指定管理者として来館者等の動向を分析し、対策を講じるよう求める。
- ・ワークショップや美術講演会などの普及事業については、毎回入念な準備を行い、参加者の日本画の理解が深まるような工夫がなされている。実際に参加した方から好評を得ていることは大変評価できる。スペースなどの制限がある中ではあるが、集客にもつながるような工夫を今後も期待したい。
- ・近隣施設との連携事業を行うほか、メディア等への積極的なPRを行い、新規の来館者獲得に努めている。東京オリンピックに向けて今後増えると予想される外国人観光客への対応やSNSで情報を収集、発信する若い世代への働きかけなどを工夫してもらいたい。
- ・施設の維持管理業務に関しては、日常点検を始め、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取られている。また、平常時はもとより、台風や長雨などで荒れた庭や玄関アプローチの手入れが適切になされ、来館者を迎えるための環境が整えられている。

平成29年度第3四半期判定評価

【鎌倉市鎌木清方記念美術館】

評価項目	判定点	第3四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 鎌木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報は適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%